



## DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

### 予選レポート

## 2022/6/18 Rd-5 スポーツランド SUGO

天候：晴れ 気温：28℃ 出走台数：21台

全10戦で戦われる2022シーズンは早くも折返しとなる第5戦スポーツランドSUGOを迎える。DOCOMO TEAM DANDELION RACINGにとって得意とするここ菅生で、まずは1勝を挙げたいところだ。

コース幅とエスケープゾーンが狭く、アクシデントも多いスポーツランドSUGOでは、予選アタックのタイミングが結果を大きく左右することも。またコース幅の狭さからオーバーテイクが容易なレイアウトではないため、予選ポジションは非常に重要となる。

気温28度、路面温度は44度と夏日の下で開始されたノックアウト第1予選。

フリー走行から好調の天津選手はA組でタイムアタック。チェックランの後、しっかりとタイヤをウォームアップし2番手タイムを記録。

B組 牧野選手は残り4分30秒でコースイン。各セクターでタイムを更新しトップ通過で第2予選へ。

続く第2予選、両選手はそれぞれのエンジニアと相談し、路面コンディションの変化に合わせたセットアップを施してアタックへ向かう。

先にコースインした天津選手は1分4秒台のタイムで3位。牧野選手は、セットアップが裏目に出たか、タイムを伸ばせず9位で予選を終えた。

5：牧野任祐 選手 予選9位（第1予選B組1位、第2予選9位）HONDA 勢5位

車のバランスに違和感のあったフリー走行から、予選に向けてセットアップを大きく変更しました。第1予選では車のバランスは改善されて感触良くトップ通過できましたが、第2予選に向けて修正した部分が裏目に出てしまいタイムアップなりませんでした。

ポールを狙おうと攻めた結果なので悔いはありません。

菅生戦は「魔物が棲む」と言われるほど様々なことが起こりますから、しぶとく上位を狙います。

6：天津弘樹 選手 予選3位（第1予選A組2位 第2予選3位）HONDA 勢2位

フリー走行から感触は非常に調子よく、予選でもコンディションに合わせてタイム更新できました。オートポリスでの予選の失敗を糧に、チームとしっかり準備し、マシンの性能を引き出した結果と思います。

明日の決勝、十分に優勝の権利があるポジションからのスタートです。

菅生はオーバーテイクの難しいコースなので、チーム戦略とスタートダッシュで優勝を目指します。